

主催 一般社団法人 宮城県病院薬剤師会

第156回宮城県病院薬剤師会学術研究発表会プログラム

開催日時：令和8年3月15日（日） 14：00～16：35

開催方法：現地発表（web 配信は行いません）

会 場：仙台国際センター 展示棟 会議室3（仙台市青葉区青葉山無番地）

司会 （一社）宮城県病院薬剤師会学術委員会副委員長 鈴木 裕之

開会の挨拶 14：00～14：05 （一社）宮城県病院薬剤師会学術委員会委員長 富岡 佳久

学 術 発 表 1 14：05～14：50

座 長 八島 一史（東北医科薬科大学若林病院 薬剤部）

1. 多剤服用と入院中のアウトカムの関連性について

西仙台病院¹ 薬剤部、²医療安全対策室、³医事課

○今野 侑子¹、佐藤 晴美¹、今野 和政²、三浦 真由美³

2. 医療用麻薬の自己管理運用に向けた当院での取り組み

¹仙台市立病院 薬剤科、²仙台市立病院 看護部

○三塚 健司¹、菅野 高弘¹、相澤 雄人¹、遠藤 達也¹、山家 聡美¹、但木 美枝子²、
関川 祐貴子¹

3. 当院における後発医薬品切り替えの実践と効果～5年間の取り組みと高額医薬品の検討～

独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター

○江川 海斗、西城 信、永澤 佑佳、阿部 憲介、西村 康人

4. プレアボイドオンライン報告の新システム導入に伴う報告内容の解析

¹東北医科薬科大学病院、²東北医科薬科大学 薬学部 病院薬剤学教室

○山内 雅仁¹、芝田 梓¹、畠山 史朗¹、三浦 良祐¹、日野 洋明¹、岡田 浩司^{1,2}

学 術 発 表 2 14：55～15：40

座 長 畠山 綾子（仙台市立病院 薬剤科）

5. 慢性期病院の内科病棟における薬物療法への介入例

IMS グループ 西仙台病院

○富田 佑璃子 佐藤 晴美

6. オキサリプラチン投与患者に発現した末梢神経障害と季節との関連～春期と秋期の比較～

宮城県立がんセンター 薬剤部

○浅野 二未也、内田 敬、林 克剛、猪岡 京子

7. 嚥下造影を活用した服薬支援：1症例報告

西仙台病院 薬剤部

○秋山 里美 佐藤 晴美

8. セファゾリン長期投与中に生じたPT-INRの延長にメナテトレノン投与が奏功した一例

東北大学病院薬剤部

○佐々木 さゆり、千葉 僚、前川 正充、眞野 成康

学 術 発 表 3 15:45~16:30

座 長 菊池 大輔（東北医科薬科大学 薬学部）

9. 腎機能障害合併末期心不全の呼吸困難感にフェンタニル貼付剤を使用した2症例

¹東北医科薬科大学若林病院・薬剤部、²東北医科薬科大学大学院医学研究科・老年地域医療学、

³東北医科薬科大学病院薬剤部、⁴東北医科薬科大学薬学部・病院薬剤学

○有馬 遥太郎^{1,2}、八島 一史¹、櫻井 淳二¹、岡田 浩司^{3,4}

10. せん妄対策に精神科リエゾンチームとして関わった積極的疼痛管理策定とその効果

¹仙台市立病院薬剤科、²同リエゾン精神科、³同看護部

○穂積 壮一¹、山家 聡美¹、藤本 英明¹、内金崎 叡智¹、関川 祐貴子¹、

看護研究グループ 山家 香織³、吉田 慎吾³、吉田 佳教³、和田 努²、佐藤 博俊²

11. B型肝炎ウイルス再活性化防止対策に関する医師の認識と実践状況

¹国立病院機構仙台医療センター薬剤部、²国立病院機構仙台医療センター医療安全管理室、

³国立病院機構仙台医療センター看護部、⁴国立病院機構仙台医療センター診療部

○阿部 憲介^{1,2}、加藤 雅子^{1,2}、横山 かおり^{2,3}、西村 康人¹、佐藤 明弘^{2,4}、島村 弘宗^{2,4}

12. 病院薬剤師におけるドライ研究の定着・推進に向けた取り組み

東北大学病院薬剤部

○小原 拓、森下 啓、大柳 元、福田 朱理、岩崎 千尋、関根 僚也、岩渕 理子、

細野 萌子、臼井 拓也、野田 あおい、佐藤 祐司、赤坂 和俊、松浦 正樹、眞野 成康

閉会の挨拶 16:30~16:35

（一社）宮城県病院薬剤師会副会長 岡田 浩司

「その他、注意事項」

参加方法 現地にて参加ください。事前登録は不要です。

参加費 宮城県病院薬剤師会会員・東北病院薬剤師会会員・薬学生 無料
その他の方 500円

研修単位 日本病院薬剤師会病院薬学認定 II-6 1.5単位（予定）
単位申請に必要なキーワードは、発表会中に提示します。